

ノーサイド

北原 巖 男

海に出た 荒ぶる海へ
・人の身は ままならぬもの 何故かしら 時に無気力
情けない 怠け心が 忍び込み 漂流船と成り果てる 恐れが襲う
海図無く 羅針盤無く 蒼黄い 未熟な知恵と競い立つ 欲望たちと我知れず 湧く情熱を せめてもの 追い風に

紙読者の皆さんへ
新年度を迎えました。自衛隊員の皆さんへ、それぞれに、それぞれの出発の到来です。

そんな中、コロナ禍は、未だに収束の兆しがありません。健康にはくれぐれも気を付けられ、これから遭遇するであろうさまざまな試練や荒波を乗り越えて行っていただきたいと思えます。

ちょっと長くなりますが、こんな歌詞の歌があります。(筆者抜粋)

「船旅に 擬えるなら 兎に角に 私の船は 甘やかな 港を後に 帆を立てて 鎖を上げて

海に出た 荒ぶる海へ
足後初めて日本で行われた日米安全保障協議委員会(2+2)の内容も踏まえ、将来の変化への的確な対応や同盟国・友好国との積極的な交流・信頼関係・絆の構築、これまで諸先輩が築き上げて来た国民の期待と信頼に一層応えて頂きたい等の要望が表明され、声援が送られていました。

3月16日にバイデン政権発足後初めて日本で行われた日米安全保障協議委員会(2+2)の内容も踏まえ、将来の変化への的確な対応や同盟国・友好国との積極的な交流・信頼関係・絆の構築、これまで諸先輩が築き上げて来た国民の期待と信頼に一層応えて頂きたい等の要望が表明され、声援が送られていました。

また今回は、全ては学生のために」

を基本理念として、9

年余にわたる防衛大学校を世界一の士官学校にすべく先頭に立つて幹部自衛官要員の育成に尽力して来られた國分良成学校長として、一人ひとりの卒業生に卒業証書を授与する最後の卒業式でもありました。

國分良成学校長は、最大の心残りとして、在任中に志なかなばて失った卒業生や学生の名前と思いを挙げられ、人として幹部自衛官として二者択一ではな

教職員をして日本の両親と平和を暮らしを守り抜く、隊友会理事

続 応援団

い理性と情念の調和、死生観・生きることの崇高さ等について、卒業生に訴えかけられました。

これから10年、30年後、

この防衛大学校の教育指導の成果が現れる幹部自衛官の皆さん達の活躍が楽しみです。

今回は、東フィモーラの3名をばじめ、カンボジア、ラオス

ス、モンゴル、ミャンマー、韓国、タイ、バ

トナムの9か国から合わせて29名(本科23名、研究科6名)の留学生も卒業証書

を受けました。菅首相岸田

防衛大臣、國分学校長から、5年間に及ぶ異国での頑張りに対する敬意と母国での活躍に対する声援、日本と母国との懸け橋になること

の期待が表明されました。

多くの先輩・同僚・後輩、く感じました。国民の命と平和を暮らしを守り抜く、隊友会理事

して留學生の面倒を見、励まし続けてくださった「ホストファミリー」の皆さん、全く同じ気持ちで応援されています。そして、東

本科を卒業し、引き続き4月から江田島の海上自衛隊幹部候補生学校に入校予定の東ティモール留學生が、筆者にこんなメッセージを送って来ました。(マ

「AVOとmadamに移動する準備中であり、25日の朝0600頃から新幹線で出発します。これからもよろしくお願

いします。Viva T im or Leste」

みんな、頑張れ!

(注) AVOとは、東ティモールの公用語であるテトゥン語で「おじいちゃん」のこと。

北原 巖男(きたはらい

わお) 元防衛施設庁長

官。元東ティモール大使。

現(一社)日本東ティモール協会会長。(公社)